

加湿器

の使用による

レジオネラ症を防ぎましょう

お持ちの加湿器の種類をチェックしてみましょう

加湿器の種類

スチーム式	水を加熱して水蒸気にする
ハイブリッド式	加熱した水を気化や超音波で水蒸気にする
気化式	水に風を当てて蒸発させる
超音波式	水を超音波で水蒸気にする

要注意！



- レジオネラ属菌は60℃5分の加熱で殺菌されるため、加熱を伴わない加湿器、**特に超音波式**には注意が必要です。
- 超音波式加湿器は安価で簡単に使えますが、危険性を知らずにメンテナンスを怠ってしまうとレジオネラ症の感染源になってしまうことがあります。
- 加湿器が感染源になったレジオネラ症患者死亡事例もあります。

【レジオネラ症とは？】

- ・ レジオネラ属菌による細菌感染症
→自然界（河川、湖水、温泉や土壌など）に生息している細菌
- ・ レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾール（細かい霧や水蒸気）を吸い込むこと等で感染する
- ・ 症状は発熱、肺炎、倦怠感などで人から人への感染はない
- ・ 高齢者や新生児は重症化するリスクが高く、**命にかかわることがある**



✧加湿器からのレジオネラ感染を防ぐポイント✧

✧加湿器をメンテナンスして湿度をコントロールしましょう✧

☑ 水道水を使う

加湿に使用する水は、消毒されている水道水の使用をお勧めします。



☑ タンクの水はつぎ足さず、毎日交換

タンクの水をつぎ足すと菌がそのまま残り、つぎ足し続けるとより多くの菌が繁殖します。

タンクの水は、毎日交換しましょう。

☑ タンク内や水と触れる箇所を洗浄・消毒

触ってぬるぬるしている場合は、「バイオフィルム（微生物が増殖してできた膜状の集まり）」ができています。

「バイオフィルム」ではレジオネラ属菌が寄生するアメーバ類が増えていることがあり、レジオネラ属菌が増殖します。

ぬるぬるがなくなるまで洗浄し、洗浄後に次亜塩素酸ナトリウム（漂白剤）や消毒用エタノールで消毒しましょう。

☑ 乾燥させる

レジオネラ属菌は乾燥に弱いので、定期的に加湿器（タンクや水蒸気の吹き出し口等）を乾燥させる時間を作りましょう。

☑ 使用終了時、再使用時に洗浄

加湿が必要な季節が終わったら、加湿器をしっかりと洗浄してから保管しましょう。

加湿が必要な季節になり、保管してあった加湿器を使い始める際にも洗浄してから使用しましょう。

☑ 取扱説明書を確認

加湿器の取扱説明書をよく読み確認してしっかり管理しましょう。